

希望を胸に 入学・入園

町内の小・中・高校やこども園では、4月に入学式・入園式が行われ、新入生たちが希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。



元気な声で返事をする猪苗代第二小の新1年生

希望を胸に新生活がスタート

町内2小学校の入学式は4月7日に行われ、新入生82人が元気に小学校生活をスタートさせました。猪苗代第二小には32人が入学。式では、古川潔校長が「皆さんの元気な顔を見てうれしいです。一日でも早く学校に慣れて、みんなで仲良く生活しましょう」と式辞を述べました。在校生を代表して6年生の板橋ふきさんが「明日から楽しい小学校生活が始まります。心配なことがあったら先生や私たちに言ってください」と歓迎の言葉を述べました。

期待を胸に新たな一歩

猪苗代中学校の入学式は4月7日に行われ、新入生84人が期待を胸に新たな一歩を踏み出しました。

鈴木雅彦校長が「日々挑戦し続け、自分だけが持つ可能性という光にいつそ磨きをかけて輝かせてください」と式辞。新入生を代表して鈴木咲翔さんが「中学校生活に不安な気持ちもありますが、新しい友達との出会いや先輩方、新しい仲間と行う部活動をとても楽しみにしています」と誓いの言葉を述べました。



緊張した面持ちで誓いの言葉を述べる鈴木さん



入園式に臨む新入園児と保護者(ひまわりこども園)

みんなでたくさん遊ぼう

ひまわりこども園とさくらこども園の入園式は4月8日に行われ、新入園児たちが楽しい園生活をスタートさせました。

ひまわりこども園では、乳児部と幼児部の合わせて51人が入園しました。式では、新入園児たちが保護者や来賓に拍手で迎えられ入場。子どもたちは、自分の名前が呼ばれると大きな声で返事をしました。古川いち子園長が「こども園はお友達と仲良く遊ぶところです。たくさん楽しんでください。元気にこども園に通ってください」と式辞を述べました。

希望に満ちた高校生活が始まる

猪苗代高校の入学式は4月9日に行われ、普通科に新入生11人が入学しました。

式では、門脇広子校長が全員の入学を許可し、「新入生の皆さん、今日から私たちとともに猪苗代高校の新しい歴史を作っていきます」と式辞。新入生を代表して、薄一輝さんが「勉強や部活動に精一杯励み、猪苗代高校の生徒として先生方や地域の方々に恥じることがないように高校生活を送ります」と誓いの言葉を述べました。



新入生を代表して誓いの言葉を述べる薄さん

職員紹介

4月1日付の人事異動による新任課長2人と指導主事1人、新採用職員7人を紹介します。

教育総務課 主幹兼指導主事
吉田 勝則



子どもや教職員の思いに寄り添いながら支援していきます

猪苗代町教育委員会スローガン「志高く 辛抱強く 猪苗代の未来を拓く 人材の育成を目指して」に基づき、町の宝である子どもたちが「生きる力」を培い、「確かな学力」を育み、「健やかな体」をつくれるよう取り組みます。

子どもたちや教職員の思いに寄り添いながら、充実した学校生活を送れるよう支援してまいります。

町民生活課長
土屋 伸



安心して手続きできる窓口づくりを心掛けます

町民生活課は、課名のとおりに町民の皆さんの生活と密接に関わりがある各証明発行や国保、年金、ごみなどの業務を担当しています。

役場に入って最初の課となりますので、来庁される方が安心して手続きできるよう、親切丁寧な対応と明るい職場の雰囲気づくりを心掛けるとともに、誠実でスピーディな行政サービスの提供に努めます。

税務課長
野崎 和彦



「公平・公正・わかりやすい」税務行政を推進します

町税は「ともに地域を育て、みんなが心地よく暮らせるまち猪苗代」を目指す第七次振興計画の実現に欠かせない大切な財源です。

「公平・公正」で「わかりやすい」税務行政を通じて、町民の皆さまに町税の意義を正しくご理解いただき、ご協力をお願いしながら、適正な賦課徴収を行い、安定した町税収入の確保に努めます。

町民の皆さんに安心安全な水を供給できるよう精一杯努めてまいります。



上下水道課
主査 山代 真彦

町民の皆さんに信頼される職員を目指し、精一杯業務に努めてまいります。



農林課
主事 佐藤 拓夢

保健師として、町民の皆さんの生活をよりよくできるように頑張ります。



保健福祉課
保健師 湯田 琳

猪苗代町に貢献できるように、少しでも早く業務に慣れるよう努力します。



総務課
主事 高木 瑠央

明るく笑顔いっぱい頑張ります。よろしくお祈りします！



教育総務課
主事 五十嵐 龍星

子どもに寄り添った保育ができるように一生懸命頑張りたいです。



こども課
保育教諭 横澤 亜美

町民の皆さんが笑顔で日々をすごせるよう頑張ります。



こども課
主事 佐藤 綾